

2025年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧 (9月16日)

民間奨学金申請要領 返還支援事業

※民間団体等奨学金の申請方法について、必ず申請要領を確認のうえ手続きを行ってください。 →→ [URL](#)

[URL](#)



○募集要項の請求先について
 「大学」と記載されている奨学金→学生支援チーム①番窓口へ取りにきてください。
 各団体名が記載されている奨学金→各自でHPからダウンロードしてください。

※地方公共団体等の奨学金返還支援事業についてはこちらに掲載しています。 →→ [URL](#)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
大学とりまとめ型	令和8年度(第22期)奨学生 公益財団法人 アイコム電子通信工学振興財団	令和8年度に大学・大学院で電子通信工学関係を学んでいる者であって、次の①及②のいずれかに該当する者 ①大学生は給付の時期に3年生以上であること ②大学院生は給付の時期に在学のこと *民間企業等から報酬を得る場合は応募をご遠慮ください。	可	令和8年度(2026年) 学部:3・4年生 大学院:1・2年生	月額:5万円 (給付期間:1年間)	給付	90名予定 (全国) *予算の関係で変更の場合有	アイコム電子通信工学振興財団(奨学生)	(12/12 16:00までに提出書類一式とともに推薦書作成を学生支援チーム①窓口へ依頼をすること)	2026年 1月5日(月)~ 1月19日(月) (1月19日消印有効)
大学とりまとめ型	2025年度 首藤奨学財団	本人、又は保護者が引き続き神奈川県内に居住しているもので2025年10月の奨学金受給時において、次のすべての要件を満たしているもの ①医療及び医療基礎研究分野を専攻、又は研究しているもの ②人物、学力に優れ、熱意をもって取り組んでいるもの ③他の奨学金との併給可。日本学術振興会特別研究採用者も可	可 (条件あり)	2025年10月時点で 学部学生・大学院生	70万円 (一括給付予定)	給付	【2号奨学生】 (本学からの推薦) 学部/大学院 2名 【全国で30名程度】	学生支援チーム	学生支援チーム	10月10日 (16時厳守)
直接応募型	一般財団法人 田中孝典記念教育財団	以下の①~⑤のすべてに該当すること ①日本国籍を有すること ②国内の大学の理工系学部等に在籍する学部3年生であること ③応募締切日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること ※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの(例:情報理工学部、創造工学部、理工学群、応用理工学類、応用物理専攻)	可	2025年4月1日の時点で 学部生 3年生	年間48万円 (10月下旬に年額一括給付) 給付期間:2年間	給付	10名	田中孝典記念教育財団	一般財団法人 田中孝典記念教育財団 事務局 奨学金事業係	9月1日~10月31日 (応募書類必着)
直接応募型	黒木育英奨学金	以下の(1)~(6)の全てに該当する者 ①日本国籍を有すること ②両親または片親がいない世帯に属していること ③国内の大学に在籍する学部3年生であること ④応募締切日時点で年齢25才以下であること ⑤経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑥修学状況及び生活状況について適時報告できること	可	学部生 3年生	年額 48万円 (11月下旬に年額一括給付) 給付期間:2年間	給付	10名	黒木育英奨学金	一般財団法人 黒木育英奨学金 事務局 奨学金事業係	9月30日 (応募書類必着)
大学とりまとめ型	林レオロジー記念財団	1) 未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生及び大学生、もしくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生及び大学生を対象とし、かつ以下の①~③の全てを満たしている者。 ①令和8年4月に大学3年もしくは4年に進級する人、または大学院前期(修士課程)の1年生に進学を希望する人もしくは大学院前期(修士課程)の2年生に進級する人。(9月進学者は除く) ②品行方正で学習意欲の高い人。 ③学業成績が一定水準以上の人。 2) 前年度応募者及び前年度奨学生も応募資格を有するものとする。 3) 他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合は、その財団が併給可の場合のみ、応募資格を有するものとする。	可	令和8年4月現在で 学部学生: 3~4年生に進級する人 大学院: 修士課程1年生に進学希望する人、若しくは2年生に進級する人	学部学生 月額4万円 大学院生 月額7万円	給付	(本学からの推薦) 学部学生 各学部 1名程度 大学院生 各研究科 1名程度	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	9月1日~ 9月30日 (16時厳守)
大学とりまとめ型	一般社団法人大学女性協会 東京支部奨学生(通称 チャレンジ奨学生)	23ヶ月以上の就労(アルバイトを除く)の後、会員の在住する都道府県に本部を置く文部科学省の許可する大学の3年次又は大学院1年次に在学する女性・性自認女性とする。卒業又は修士課程修了まで同大学・大学院に在学することを条件とする。就労以前の学歴は問わない。 卒業又は修士課程修了まで同大学・大学院に在学することを条件とする。	記載なし	学部生 3年生 または、 大学院1年生	20万円 (一括給付)	給付	1名	大学女性協会	大学 (学生支援チーム)	9月22日 (16時厳守)
直接応募型	マイベスト奨学金	2025年4月1日時点で、日本国内の高校、高専、大学、短大、または専門学校に在籍しており、かつ年齢が20歳以下であること。	可	2025年4月1日時点で 学部生	10万円 (一括給付)	給付	(年間) 合計15名程度	マイベスト奨学金	マイベスト奨学金	【第1回】 6月1日~9月30日 【第2回】 10月1日~2026年1月31日 【第3回】 2026年2月1日~5月31日
直接応募型	一般財団法人ジェイリース奨学基金	身体障害者手帳(視覚障害1~6級)が交付されている、または、視覚に障害があることを証明する医師の診断書が提出可能な方	可 (条件により不可)	学部生 大学院生	年間60万円 (3回に分けて支給)	給付	5名程度	一般財団法人ジェイリース奨学基金	一般財団法人 ジェイリース奨学基金	9月19日 (当日消印有効)
直接応募型	公益財団法人渥美国際交流財団	以下の①~⑤のすべてに該当すること ①日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。 ②居住地が関東地方または近畿地方(三重県・大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県)の方。 ③国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。 ④外国語能力が高いことが望ましい。 ⑤奨学金受給期間に正規の職(常勤職)に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。	可 (条件により不可)	2025年4月1日の時点で 大学院生(博士課程)	月額 25万円 給付期間:1年間 (2026年4月~2027年3月、 または、2026年9月~ 2027年8月)	給付	18名	渥美国際交流財団	公益財団法人 渥美国際交流財団	申請受付期間 (9月1日~ 9月20日)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
直接応募型	(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学)	大学院生(在学)	貸与(無利子)	20名	(財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会	2024.10.31 (1次募集)8.31 (2次募集)1.31
				大学院予約(学部最終学年)	月額 5万, 8万, 10万円					
				学部生	月額 4万, 5万, 6万円 (うち2万円給付)					
直接応募型(推薦書依頼必要)	公益財団法人 ファスキア奨学財団	①医療又は福祉系の学を専攻する大学生、大学院生 ②愛知県、三重県、岐阜県出身者又は左記県在住者 ③在学学校長によって推薦された者 *生計を一にする同居家族の合計年収が800万円未満もしくは合計所得が600万円未満であること	可	学部生 大学院生	給付金額 10万円	給付	30名	ファスキア奨学財団	ファスキア奨学財団 (9/10までに学生支援チームへ推薦書作成を依頼すること)	9月30日 (応募書類必着)

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2025年9月30日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)